

スターフライヤーの社会貢献活動を紹介します。

REPORT:1

「平尾台・広谷湿原」ラムサール条約登録実行委員会へ協賛

『「平尾台・広谷湿原」ラムサール条約登録実行委員会』は、福岡県北九州市と苅田町に位置する広谷湿原を含む平尾台カルストがラムサール条約に登録されることを目標に、2017年10月21日に設立されました。ラムサール条約に登録するために、重要になるのが地元の方々の賛同。実行委員会の設立で、より多くの方にこの活動を知ってもらい、条約登録によって“平尾台+広谷湿原”のワイズユース、そして保全することが目的です。2018年10月21日にはドバイで第13回ラムサール条約締約国会議が開催されます。それに向けて研究主体の「東筑紫学園高等学校理科部」の生徒のみなさんが一生涯活動を行っています。スターフライヤーは、実行委員会の活動を応援しています。

※ラムサール条約とは、イランのラムサール(Ramsar)で、1971年に採択された国際条約「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」の通称。広く水辺の自然生態系を保全することを目的とする。登録対象となる区域は湿原のほか、湖・溪流・干潟、そしてカルストの地下湿地なども含まれる。日本は1980年(昭和55)に加盟。1996年の第6回締約国会議で「生物多様性全般」を保全する条約へと変わった、国際湿地条約。

ラムサール条約登録実行委員会 <https://hirotani-ramsar.jimdo.com/>



写真:本田茂



REPORT:2

スターフライヤー、「国際 NGO ロシナンテス」に輸送協力

2005年に発足したロシナンテスの活動は、スーダン共和国に外務省医務官として赴任した川原尚行医師が、政治事情により国際社会からの支援が途絶え、著しく低い水準の健康状態におかれたスーダンの人々が真に必要な支援を届けるために、外務省を辞して始めた無医村地域での巡回診療から始まりました。それ以来、川原医師の地元北九州を日本における拠点とし、スーダン共和国において診療所の建設、安全な水の提供、地域に根付いた医療従事者の育成、栄養改善プロジェクトの推進など、地元の保健省やNGOそしてWFPなどの国際機関との協力のもと活動の幅を広げています。一方で、日本国内における新たな資金調達源の開拓や、外務省および在日スーダン共和国大使館との協議、関連機関との連携強化やネットワーク構築などは、東京に一極集中しているのが現状で、北九州を拠点とするロシナンテスが活動を維持し拡充していくにあたり高いハードルとなっていました。北九州市に本社を置く、スターフライヤーが輸送協力を行うことで、ロシナンテスにとって最大の障壁ともいえる首都圏への移動手段がサポートされ、スーダン共和国におけるロシナンテスの事業を伸展させるために不可欠な、日本国内の基盤拡充のよりスムーズかつ確実な実現を後押ししています。

特定非営利活動法人 ロシナンテス <https://www.rocinantes.org/>

